

企業団所有地の売却検討に関するサウンディング型市場調査結果概要

企業団所有地の売却検討に当たり、民間事業者との対話を通じて市場性等を把握し、今後の売却条件等の検討に活用することを目的として、サウンディング型市場調査を実施しました。

本調査では、当該所有地の課題等について、多様な意見を得ることができました。今後は、本調査で得られた意見を参考に、売却条件等の検討を進めていきます。

1 参加事業者数

4 社

2 結果概要

(1) 対象物件の魅力とリスク

大規模かつ希少な開発用地であり、住宅地として高いポテンシャルを有するとの評価があった。一方で、地形条件や既存構造物の撤去、土砂災害警戒区域等への対応、周辺道路条件などが事業性に影響するリスクとして挙げられた。

(2) 考えられる開発・事業

住宅を中心とした土地利用の可能性があるとの意見があり、事業化に当たって、敷地条件や法令上の制約を踏まえた計画検討が必要との意見があった。

(3) 想定取得価格帯

開発条件や採算性を踏まえた価格設定が重要であるとの見解が示された。

(4) その他

事業性の検討に当たっては、近年の建設コスト上昇等を踏まえ、採算性を慎重に見極めることが重要との意見があった。